



● 司会進行

SAA/ 平田会員・檜垣会員

会報担当/ 川島事務局

● 点 鐘 上野会長

● ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト

● お客様 船木幹夫ガバナー補佐・鈴木芳明

ガバナー補佐幹事・千葉北 RC 栗原洋一会長

BUMP-UP 潤間代表理事

千葉南 RC 常世田副幹事

● 会長挨拶 上野聡 会長



皆様、こんにちは。本日は、市原ロータリークラブ 9月第一例会に多くの会員の皆様、第4 Gガバナー補佐 船木様、ガバナー補佐幹事 鈴木様、千葉北ロータリークラブ会長 栗原様、千場南ロータリークラブ 常世田様、特定非営利活動法人 BUMP-UP 潤間様、ご出席いただき、ありがとうございます。船木ガバナー補佐に置かれましては、大病を患いながらも、奇跡的な回復をされ、本日も越し頂いているのが、不思議なのですが、何はともあれ大変嬉しいかぎりです。まずは、8月22日の第二例会にオブザーバーとしてお越しいただき、そして、その場で気持ちよく入会申込書をご記入いただいた、夏井さん、切替さん、ようこそ市原ロータリークラブへご入会いただきました。おじい様、お父様が楽しんでおられたように、お二方もロータリーを楽しんでいただければ幸いです。

さて、9月は「基本教育と識字率向上月間」です。義務教育がある日本では、なじみのない文言ではありますが、ロータリーのリソースの案内のひとつ、教育の支援を紹介します。読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標ですとあります。その目標を達成するために様々な奉仕プロジェクト行っています。奉仕プロジェクトを行うには、当然マンパワーが必要ですが・・・、そうです資金が必要です。世界140万人のロータリーの会員となった時点で、その役にたってはいますが、更にはそこに思いをはせ、少しでもいいので、自らの意思でご寄付をお願い出来ればと思います。

続きまして、8月24日に出席した、奉仕プロジェクトセミナーの話です。セミナーのひとつとして、TSUNAGU2790 プレゼンテーション、国際奉仕提唱クラブの発表がありました。「TSUNAGU2790」プロジェクトについてですが、「一つのクラブでは資金的に困難な時、もう少し大きな事業をしたいとき、でも、ロータリー財団のグローバルグラントを使う程の事業ではないとき」事業の提唱クラブとなりプレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」というプログラムです。簡単に言うと国際奉仕のクラウドファンディングです。千葉幕張ロータリークラブ、松戸中央ロータリークラブ、鴨川ロータリークラブ、3クラブのエントリーがありました。セミナーに出席した、磯貝幹事、石井委員長、大槻副委員長といいねとなり、当クラブとしましては、3クラブ全てに賛助エントリーすることを理事会で決定しました。当クラブでも国際奉仕を考えるきっかけとなればと思います。

そして、本日の例会プログラムのひとつとして、始関さんに地域社会貢献基金についてお話しいただきます。コロナ過で暫く募集を中止していた基金ですが、本年度より復活しましたので、改めて基金創設時の会長であった始関さんに背景であるとか、思いを語っていただこうとお願いしました。8月1日から9月30日が募集期間ですが、早速2団体より応募、応募予定の連絡がありました。皆様のニコニコを財源とする基金ですので、しっかり選考したいと思います。結びになります。9月も様々なロータリーの行事が続きます。14日には、いよいよRLIセミナーです。体調管理をしっかりといただき、各行事に臨んでいただければと思います。以上、会長挨拶とさせていただきます。

● 幹事報告 磯貝元洋 幹事



RLIパート1が9月14日に開催されます。RLIパート2の参加登録もきてますので、又よろしく願いいたします。新入会員の夏井会員はラーニング委員会、切替会員は奉仕プロジェクト委員会に配属がきました。10月5日国府祭りで市原中央RCと共同でポリオ募金ブースの出店をします。皆様募金のご協力お願い致します。マイロータリーの登録につきましても各委員の方で呼びかけお願い致します。地域社会貢献基金の申し込みも再開致しますので宜しく願い致します。

ロータリーレート 1ドル146円

● 本日の例会場 淡粧



● 本日の司会

平田会員・檜垣会員



● 9月誕生日の会員様

加藤会員・田中会員・夏目会員・檜垣会員
お誕生日おめでとうございます。🎂



● 9月結婚記念日の会員様

本多会員・中西会員

結婚記念日おめでとうございます！



● 本日のお客様

千葉港RC 船木幹夫ガバナー補佐

無事に生還され元気な姿を見せて下さいました。本当に良かったですね。



● 本日のお客様

千葉港 RC 鈴木ガバナー補佐幹事

創立 40 周年記念式典がありますので、
その節は宜しくお願い致します。



千葉北 RC 栗原洋一会長

上野会長、磯貝幹事就任おめでとうございます。
今年度も宜しくお願い致します。



千葉南 RC 常世田副幹事

自分の会社は市原 RC さん同様市原に
ありまして、ここから直ぐですので、
何かご協力が出来ればとお伺い致しました。



● 会員増強・基盤向上委員会 中西副委員長
第 4 G 合同親睦ゴルフ参加多数

お待ちしております。

後 1 1 月は市原中央 RC との合同例会
ゴルフ・1 2 月には忘年親睦ゴルフ
も予定しておりますので、
宜しくお願い致します。



● 奉仕プロジェクト委員会 石井委員長

「TSUNAGU2790」プロジェクト
フィリピン・ベトナム・カンボジア
へ賛助金の振込みを行います。



● ラーニング委員会 永野副委員長より

第 3 ・ 第 4 G 合同「ラーニングセミナー」

1 0 月 1 8 日開催しますので、多数の参加
お待ちしております。



● 委員会報告

ロータリー財団・米山記念奨学会委員会
古川副委員長

10月5日国府祭りにてポリオ募金を
市原中央さん共同で行います。
ご協力宜しくお願い致します。



石川晋平会員より

創立100年の里おこしベンチャー企業
2月末まで千葉県内のJR線や一部私鉄、
バスが2日間乗り放題の「サンキュー
ちばフリーパス」という大変お得な切符も
販売されています。



特定非営利活動法人 BUMP-UP の代表
閻間洋平 様

● ニコニコ報告

平野会員・山崎会員・・・メンバーの吉田様の
千葉信用金庫さんが、めでたく100周年を迎え
られました。今後とも地域発展の為に指導下さい
船木さん向こう岸からのご帰還おめでとうございま
す。お大事にして下さい。

始関会員・・・船木第4Gガバナー補佐様、鈴木
補佐幹事様、千葉北RC栗原会長様ご来会
ありがとうございます。1年間宜しくご指導の程
お願い致します。会員の皆様私の拙いお話をお聞き
下さり、ありがとうございます。

千葉北RC栗原様・・・上野会長、磯貝幹事
ご就任おめでとうございます。

船木ガバナー補佐復活おめでとうございます。

石川会員・・・本日久しぶりに参加させて頂き
小湊～いすみ鉄道PJの話をして頂きありがと
うございました。

大槻会員・・・昨日16号かんぼつさわぎは
ビックリしました。突貫工事で16時には
直るそうです。皆様安全運転を気を付けましょ
う
上野会長・磯貝幹事・・・皆様本日も例会ご出席
ありがとうございます。委員会も活発に開催して
頂き感謝です。引き続き宜しくお願い致します。

● 特定非営利活動法人 BUMP-UP の代表

閻間洋平 様

- ・ 普段、接しないアスリートとふれあうこと
大人になっても記憶にのこる。
 - ・ 児童や来場者が虐待問題、いじめ問題を考
えるきっかけになる。
 - ・ 当事者に身を置く児童や来場者にとって助
舟のひとつに。
 - ・ 先々人生の選択に迫られた際、アスリート達
の体験談が参考になる。
- 心の底から、笑顔と元気を与える事ができる。

児童向け虐待防止イベントについてのPRおよび協賛金
のお願いをさせていただき貴重な時間を頂き、
心より感謝申し上げます。

子どもたちの未来をより明るく照らす活動を続けていきたい
と考えておりますので、どうぞ引き続きよろしくお願い申し
上げます。



● メインプログラム

「社会貢献基金設立について」卓話 始関信夫会員



※私は2004-05年今から20年前第41代クラブ会長を拝命しました。

1. 2004-05 会長「地域社会と共に」をスローガン掲げ就任、幹事は角谷さんにおねがいました

※当時のクラブの状況・・・創立40周年記念式典を終了した翌年で、式典終了の達成感と疲労感が混在しておりました。個人的な感覚ですが価値観と世代の変化を10年単位で考えるとすれば新たなクラブ運営を少づつ模索す

る時期ではないかと考えました。同時に会員の平均年齢も今より10歳以上高くて、世代交代が迫っていました。「地域社会と共に」のスローガンは地域社会にもっと貢献しロータリーの存在と活動を理解してもらい結果として会員増強につなげればと欲張りな目標をたてました。

誤解をされますと困りますので申しあげておきますが当市原クラブは40年の歴史を積み重ね地域社会への貢献はしてきたのでありますが、もう少し積極的に社会への存在感を示してはと思ひ・・・がありました

※元来日本ロータリーは職業奉仕を主眼とする活動に重点を置き社会への貢献は隠匿を積む精神を大切にすることを心掛けており、あまり目立つ行動は控える傾向でした。

これは決議23-34の声明に合致し、この理念は日本のロータリーアンには広く受け入れられロータリーの発展につながったと思う。

魚を与えれば一日食べて行ける 取り方を教えれば一生食べて行ける（老子） その考えに学ぶ

◆地域社会へ貢献するには活動を活発にする必要があります。

当時は年度開始にあたり地区への分担金を支払うのに苦勞する状態（特別会計を流用）であり慢性的な緊縮財政で活動費が十分に予算化できない現状で、それを隠れ蓑に活動が停滞する状況が長く続く。クラブ内の雰囲気としては何年もこの状態が続き値上げすることに踏み切れないでいた。加えて、経済環境はバブルがはじけ厳しさが感じる。これを打開しクラブとして本来あるべき活動を行うには現行20万円を24万円に値上げせざるを得ないと判断しそこで白鳥会員に会計をお願いし正常化するための予算のシミュレーションを数通りを作成してもらった。（当時例会は原則、毎週開催することと細則で定められていた）

そして、将来2～3年後にクラブ会長候補者3～4名に実情を話し対策を協議する場を設けました、今でいえばクラブの戦略計画を開催 全員一致で賛同を得る。

その後「パスト会長会議」を開催し事情説明、その際こんなに値上げしたら何人も退会者がでてしまうぞ？という脅迫めいた意見もでたが実行することに。結果として値上げによる退会者は出ませんでした。

40周年という区切りと高齢による退会者は何人かです

幸いこの年度には10名を超える新入会員を獲得純増8名の増強となった。

（余談になりますがこの年度はパスト会長会を度々開催することに）

当時の入会金は8万円で10名入会で80万円 年会費24万円10名で約240万円 合計320万円の増加となる プラスニコニコBOXを加算すると400万円ちかく増額されクラブの財政基盤は一挙に改善された。

財政基盤が強固になり翌年度からは地区に対し支払う負担金を年初に実行可能になる。そして、活動予算の計上も正常化し、小予算を隠れ蓑にした活動停滞は解消されてゆく

◆もう一つの目標である地域社会に貢献をするための基金を創設することにし、名称を「市原RC社会貢献基金」とする。

目的 私たちの周りには様々な事情により「困っている」人がたくさんおられます。多くの場合、行政はそれが大きな社会問題になって初めて対策を講じることになります。その「困っている」人たちのために

一生懸命サポートしている個人やボランティア、NPO がたくさん存在します。その人たちに対し市原ロータリークラブが支援をし、よりよい社会を実現するための仕組みが必要であると考え創設しました。

1) 地域社会の 環境、教育、芸術、文化をはじめ地域社会の生活レベルを高める先見性があり、社会のニーズに合った活動で個人や団体を支援する

2) 地震、台風などによる重大な災害時に緊急を要する個人もしくは団体活動を支援する。

3) そのほかこの活動目的に合致するもの。真の豊かさを享受できる社会の実現に一助となるもの

◆基金の原資は前述の会員増により増額した入会金及び会費が充てられ約 400 万近くでスタートする。

基金は 1,000 万円を積み立てる。原資は年末オークションの収益金、ニコニコ BOX、年度余剰金その他を充てる。

積立期間は当初 10 年から 12~3 年を要すると考えていたが 6 年を迎えるときに達成しそうになり。大急ぎで「社会貢献基金運営要項」と、「募集要項」の作成を時の会長から依頼され、平野、篠田会員をはじめ委員会で大急ぎで要項を作成し 2010 年から運用開始する。

運用規定 (現行の運用規定の元) クラブ活動計画書に掲載

選考委員会で審査し、市内の NPO、ボランティア団体、個人に活動要綱に合致したものに 100 万円を限度に支援する

その間、3,11 やクラブ周年事業又、コロナ過のためやむを得ず中断することに(別表参照)

おもな支援団体 代表的な支援団体

1、「花と緑の会」「桜さんさん会」 内閣総理大臣、環境大臣、農林大臣、文科大臣受賞に輝く

2. 青葉台「さわやかネットワーク」 挨拶運動

2010-11 年開始以来 市原市をはじめ 19 団体、22 案件に対し延べ 6,300,000 万円の支援を実施。55 周年記念 コンサートの協力要請に会長・幹事が伺った折に小中校長会の会議において「あいさつ運動」が評価され好意的にコンサートに協力いただく

◆終わりに 柔軟な対応 (不易流行)

ご高承の通り、2025 年には新世紀年代に成人を迎えた世代の 生産年齢人口がミレニアル世代と Z 世代で半数以上を占めるようになります。この世代の考え方や、価値観は今までとは大きく違い、社会課題を解決することに人生の生きがいや、やりがいを感じる世代だそうです。20 年前に創られたこの基金を従来の価値観を払しょくし、皆さんの新しい考えで作り変えて行ってもらいたいと思います。

纏まりのない話をお聞きいただきありがとうございました。

● 出席報告

出席者：48 名 欠席者：32 名 出席率：60.76%